

# JL4100 ジェットランチャーベース 装着組立手順

このたびはジェットランチャーベースをお買い上げいただきありがとうございます。組み立てる前に下記を良く読んで組立をしてください。

NO	品番	品名	数	■使用する工具
1	JL4000-11	JL4000用側面フレーム 900mm	2	◎スパナ10番、13番もしくは モンキーレンチ、プラスドライバー  4番に組まれてます。 11番はフレームに組まれています。  <b>タイヤを止めているDリングを外し、必ず割ピンに交換して走行してください！</b>
2	JL4100-12	JL4100用デッキフレームキャップ付 ロング900mm	2	
3	JL4100-13	JL4100用フットパイプアウター 500mm	4	
4	JL4100-17	JL4100用フットパイプインナー 32φx450mm	4	
5	JL4000-15	JL4000用ランチャーレールガイドキャップ付	4	
6	IB040025AA	38角ブラケット25mmガイド用(旧品番JL4000-1)	4	
7	IB040090AA	38角ブラケット90mm (旧品番JS205)	8	
8	JL3000-4	JL4000用ステンレスラチェットベルト4.0M白	2	
9	JL3000-3	JL4000用、JL399用 ガンネルフック	4	
10	JB10604	ゴムキャップ KP-22	4	
11	Z6028-1	38角用エンドキャップスリット丸穴付 黒	8	
12	P03-6-55	SUSプラスチック6-55	24	
13	P06-06	SUSワッシャー-M6	24	
14	P15-06	SUSナイロンナットM6	24	
15	P03-8-60	SUSプラスチック8-60	12	
16	P03-8-50	SUSプラスチック8-50	4	
17	P06-08	SUSワッシャー-M8	32	
17	P05-08	SUSスプリングワッシャー-M8	16	
18	P07-08	SUSナットM8	16	
19	P10-3-35	SUS割ピン3-35	4	



コチラのQRコードより  
弊社通信販売にて  
交換部品販売しております。

## ■組立手順

組立をする前に完成写真をよく見て、全体のイメージを頭の中で作ってください。

各ネジ類を締める際は潤滑剤等を塗付して締めるようにしてください。

<トラスビスの頭が6ミリは内側に8ミリは外側になるように締めてください>

最初は各ネジ部は仮締めにて組立てをしてください、最初からきつく固定しますと最後でフレームが組上がらなくなる場合があります。

### フットパイプアウターの組立

フットパイプの最も端寄りに穴がある方を下にしジョイントブラケットAのナナメ部を下にして中間の2穴に内側より

トラスM6-55を差しM6ワッシャー、ナイロンナットで締めます。

フットパイプの上端にジョイントブラケットAを中間のブラケットより90度の向きに外側からトラスM8-60を差しM6ワッシャー、ナイロンナットで締めます。

4本のフットパイプを四方に置いてブラケット、トラスビスの向きを確認しながら取り付けます。

### 側面フレームとデッキフレームの組立

四方に並べたフットパイプの中間のジョイントブラケットAに側面フレームをトラスM8-60、M8ワッシャー、ナットで固定します。(トラス頭外側)

四方に並べたフットパイプの上端のジョイントブラケットAにデッキフレームをトラスM6-55、M6ワッシャー、ナイロンナットで固定します。(トラス頭内側)

### フットパイプインナーの組立

組上がったフレームをひっくり返しにしてゴムキャップを付けたフットパイプインナーをフットパイプアウターに差し込みトラスM8-50、M8ワッシャー、ナットで固定します。

### レールガイドの組立調整とフットパイプインナー調整

レールガイド用ブラケットをデッキフレームの8ミリ穴(大きい穴)のほうにトラスM8-60、M8ワッシャー、ナットで固定します。

その上にレールガイドキャップ付をトラスM6-55、M6ワッシャー、ナイロンナットで取り付けます。

※8ミリ穴は左右内外で計4個あります、450ミリ幅のランチャーは外側で、300ミリ幅は内側になります。

#### ●横幅の調整

※6ミリ穴は片側7個ありますので実艇に乗せ合わせしてジョイントブラケットAをずらし幅調整してください。

<左右対称の穴使用>

#### ●高さの調整

※ジェットランチャーベースの高さは実艇に乗せ合わせしてフットパイプインナーをずらし高さ調整してください。

PWCのステップが傾斜している場合は前後の高さを変えて調整してください。

### PWCへの固定方法

組立てたジェットランチャーベース本体をサイドステップに置き、その上にさかさまにジェットランチャーを積載します。

前後の向きは各艇によりハンドル高さ等違いますので調整してください。

2個のガンネルフックにラチェットベルトを通して、ガンネルフックを艇の両側ガンネル部分に引っ掛けて

ジェットランチャーの上からベース本体と一緒にラチェットベルトをしっかり締め固定します。

(積載長さが長い場合、ジェットランチャーの取っ手を外して積載することも可能です)

タイヤを止めているDリングを外し、替わりに割ピンを差し込んで抜けないように先を曲げてください。

●ベースの前足と後足の接地するレベル(高さ)にかなり段差や傾斜がある場合は

レベル(高さ)が合うように何かスペーサーを入れて固定してください。

●ベース装着後は必ず一度試走しベルトの緩みやラックのズレ等、取付状態を確認してください。

艇によってはガンネル形状により、うまくラッシングだけの固定ができない場合があります、その際はさらに追加でロープ、ベルト等で

艇体にしっかり固定してご使用ください。

●高速走行や長い時間の走行時の場合はさらに追加でロープ、ベルト等で艇体にしっかり固定してご使用ください。

●艇のガンネル形状によってはガンネルフックが艇にこすれキズ付く場合はフックと艇体の間に緩衝材等を当ててご使用ください。

●ステップ部分の肉厚が薄く強度に不安のある場合、足部に何か敷板を敷いて固定してください。

### ■使用上の注意！

●ベース装着後は必ず一度試走しベルトの緩みやベースのズレ等、取付状態を確認してください。

緩んでいたりズレていたら走行を中止し固定し直してください。

●悪路走行の際は徐行にて走行してください。

●ジェットランチャー以外の積載はやめてください大変危険です。

●本品を使用に際しては、速度超過、急発進、不要な急ハンドル、不要な急減速をしないでください。

急ハンドル、急減速等した場合は必ずラックの積載物や取付状態を確認してください。

●高速走行、長距離走行される場合は、さらにロープ、ベルト等でしっかりと固定して走行してください。

●走行する前に必ずネジ、ボルト、ベルトの点検、締め直しをしてください、緩んだまま使用しますと事故や破損の原因になります。

●ベース使用の際は走行時適時ベースの安全確認し走行してください。

●老化や破損等があるベルトの使用は大変危険です、その際は使用をやめてください。

●この商品はジェットランチャー積載用です、その他には使用しないでください。トレーラー法規内にてご使用ください。

●誤った取付、使用による事故等の責任は応じかねますので、ご了承ください。

# ジェットランチャーベースの装着取扱注意事項

<装着組立手順書の「使用上の注意！」もご確認ください。>

- ①組立てたジェットランチャーベース本体をサイドステップに置き、その上にさかさまにジェットランチャーを積載します。前後の向きは各艇によりハンドル高さ等違いますので調整して下さい。
- ②2個のガンネルフックにラチェットベルトを通しておいてから、ガンネルフックを艇の両側ガンネル部に引っ掛けてジェットランチャーのレール部の上からベース本体と一緒にラチェットベルトをしっかり締め固定します。(積載長さが長い場合、ジェットランチャーの取っ手部を外して積載することも可能です)



高速走行や長い時間の走行時の場合はさらに追加でロープ、ベルト等で艇体にしっかり固定してご使用ください。

タイヤを止めているDリングを外し、必ず割ピンに交換して走行してください！  
Dリングでの走行は危険です。



老化や破損等があるベルトの使用は大変危険です、速やかに交換してください。

品番JL399BH  
追加ベルトセット  
¥9,000+税  
(ラチェットベルト、ガンネルフック2個)

走行する前に必ず各部のネジ、ボルト、ベルトの点検、締め直しをしてください、緩んだまま使用しますと事故や破損の原因になります。

艇のガンネル形状によってはガンネルフックが艇にこすれキズ付く場合はフックと艇体の間に緩衝材等を当ててご使用ください。  
フックが奥までしっかりかかっているか確認してください。

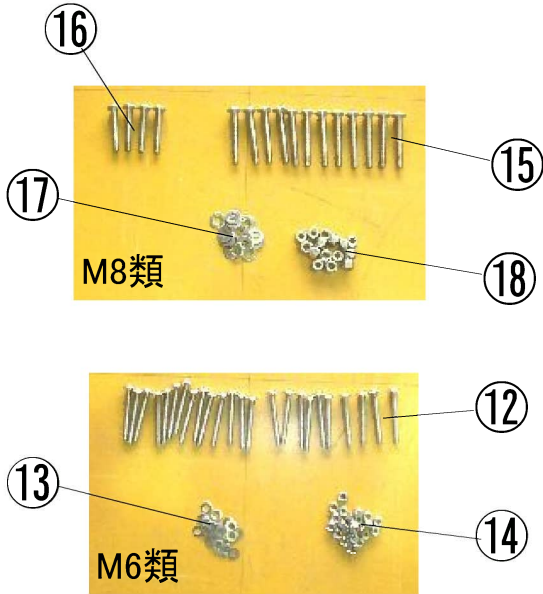
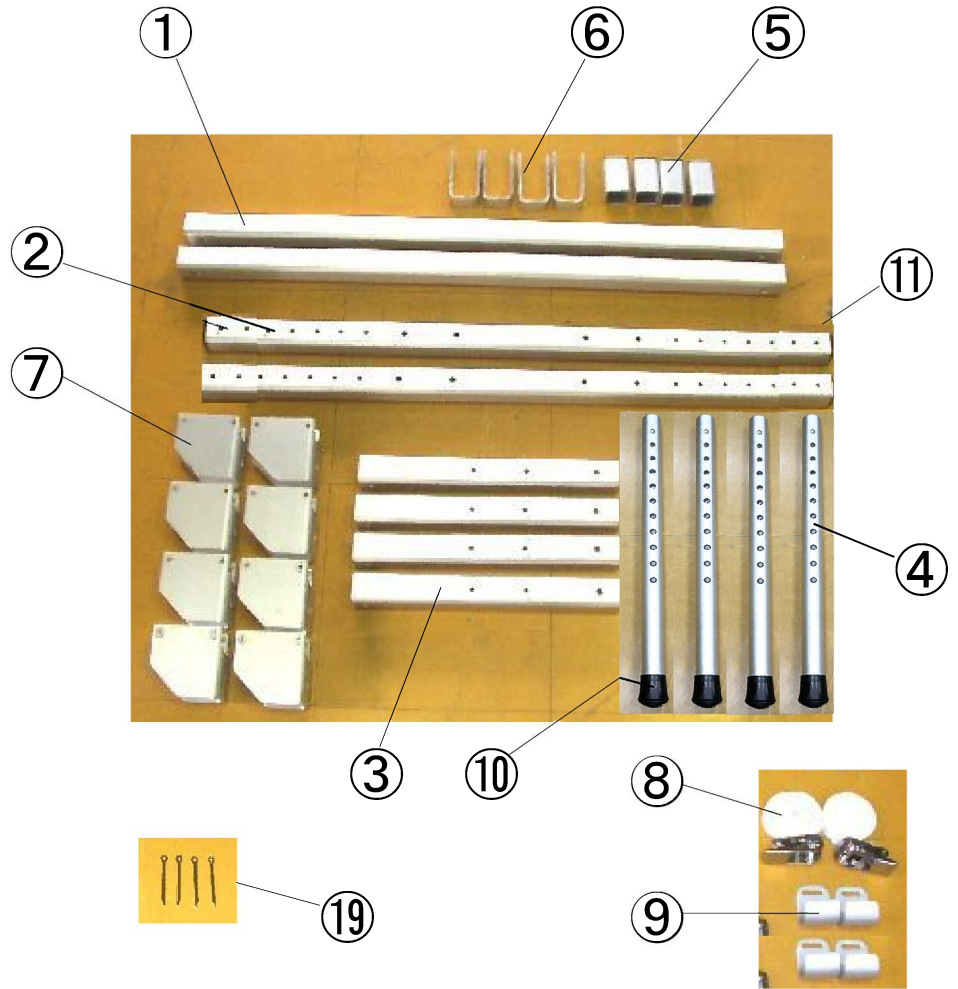
- ベースの前足と後足の接地するレベル(高さ)にかなり傾斜がある場合はレベル(高さ)が合うように何かスペーサーを入れて固定してください。
- ベース装着後は必ず一度試走しベルトの緩みやラックのズレ等、取付状態を確認して下さい。
- 艇によってはガンネル形状により、うまくラッシングだけの固定ができない場合があります、その際はさらに追加でロープ、ベルト等で艇体にしっかり固定してご使用ください。
- 艇のガンネル形状によってはガンネルフックが艇にこすれキズ付く場合はフックと艇体の間に緩衝材等を当ててご使用ください。
- ステップ部分の肉厚が薄く強度に不安のある場合、足部に何か敷板を敷いて固定してください。
- トレーラー法規内にてご使用ください。



パーツ番号図



完成写真

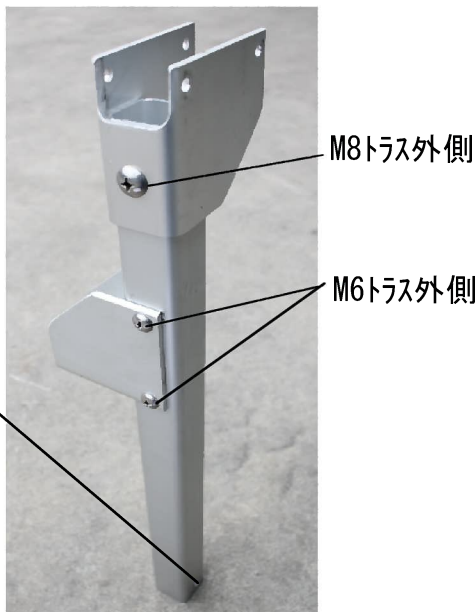


M8類

M6類

フットパイプアウターの組立て

<トラスビスの頭が6ミリは内側に8ミリは外側になるように締めして下さい>  
<ビス類は始め仮締めし最後に増し締めして下さい>



フットパイプの  
上下向きに注意!

パイプの端寄りに  
8ミリ穴があるほ  
うが下です。

M8トラス外側

M6トラス外側

全部で4本のフット  
パイプを完成させます。  
四方に置いてジョイント  
ブラケットAの向きや  
トラスビスが外側に  
あるかを確認します。



フットパイプの中間に  
ジョイントブラケットAを  
M6類で固定します。  
※ジョイントブラケットA  
の向きに注意

フットパイプの上端にジョイント  
ブラケットAをM8-60類で固定します。  
※ジョイントブラケットAの向きに注意  
※M6ナット側を外側にしてください、  
内側にしますと設置の際、シートカバー  
に当たりキズが付く恐れがあります。



四方に並べたフットパイプの中間のジョイントブラケットAに側面フレームをトラスM8-60類で固定します。



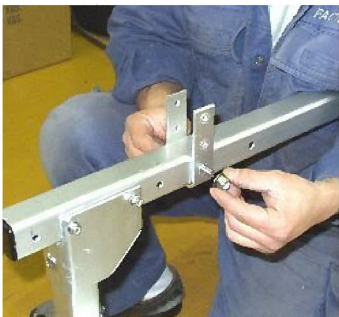
四方に並べたフットパイプの上端のジョイントブラケットAにデッキフレームをトラスM6類で固定します。

フットパイプインナーの組立て

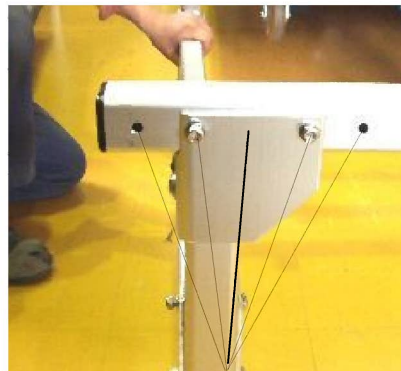


組み上がったフレームをひっくり返しにしてゴムキャップを付けたフットパイプインナーをフットパイプアウターに差込みトラスM8-50類で固定します。

レールガイドの組立調整とフットパイプインナー調整



レールガイド用ブラケットをデッキフレームの8ミリ穴(大きい穴)のほうにトラスM8-60類で固定します。その上にレールガイドキャップ付をトラスM6類で取付けます。  
 ※8ミリ穴は左右内外で計4個あります。  
 450ミリ幅のランチャーは外側で、300ミリ幅は内側になります。



※6ミリ穴は片側7個ありますので実艇に乗せ合わせをしてジョイントブラケットAをずらし幅調整して下さい。<左右対称の穴使用>  
 (2025年度サイズ更新)



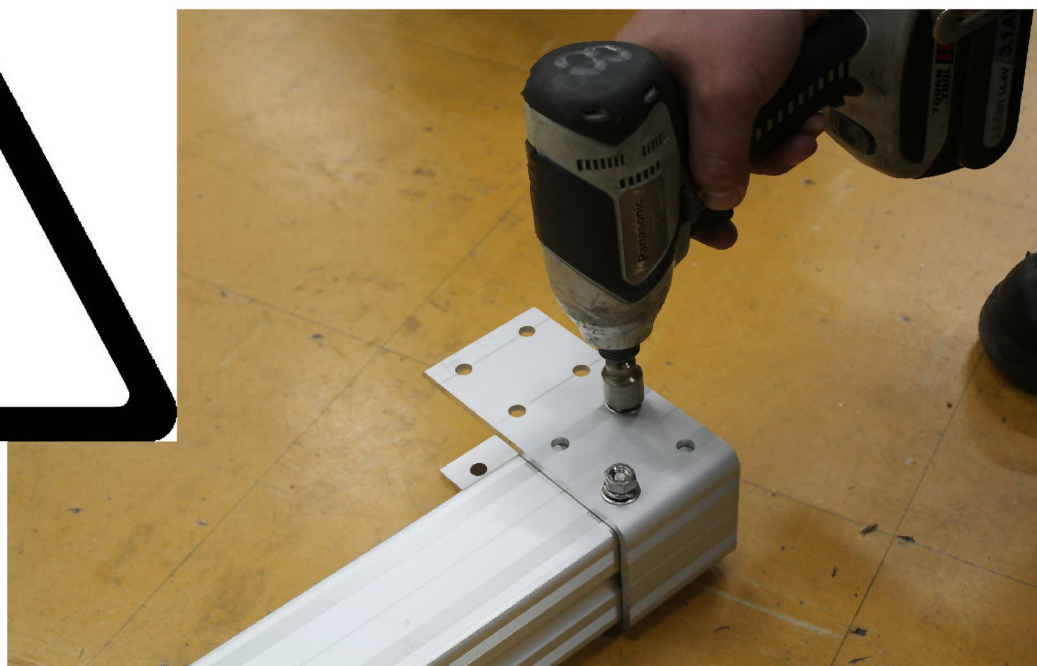
※ジェットランチャーベースの高さは実艇に乗せ合わせをしてフットパイプインナーをずらし高さ調整して下さい。  
 PWCのステップが傾斜している場合は前後の高さを変えて調整して下さい。  
 (2025年度サイズ更新)



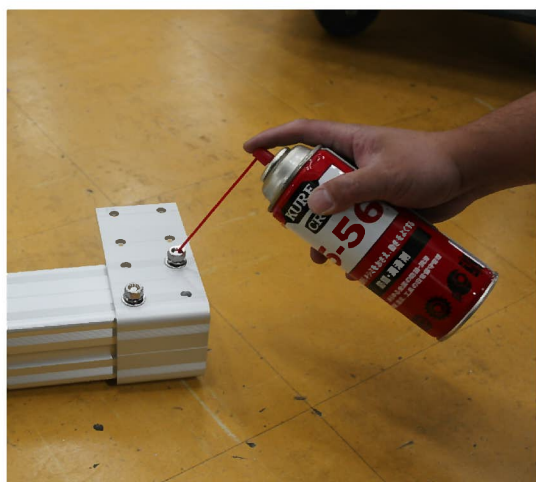
## <<ボルトの締め付け、取扱い注意>>

ステンレスのボルトやナットをインパクトレンチなどで急激に締め付けるとネジの嵌め合い部で摩擦による熱が発生し、その熱によってネジ部が膨張し、オネジとメネジが密着し焼付きを起こし動かなくなることがあります。そのまま締め付けていくとボルトが折れることもありますのでご注意ください。また必ず潤滑剤を塗布してから締め付けをしてください。

ナイロンナットにはすでにオイル等を塗布してパックされています。地面に落としたり、砂埃で砂が付着した際はきれいにしてから再塗布をし締め付けをしてください。



# 急激な 締め付け注意！



潤滑剤を塗布してください。

